

シンポジウム開催のご案内

京都大学経済研究所 主催
「応用金融工学（野村証券グループ）寄附研究部門」
シンポジウム 2006

（午前の部）『金融工学の新潮流 2006』

（午後の部）『企業価値評価と金融工学 - M & A時代の企業価値評価手法 - 』

2006年2月吉日

京都大学経済研究所 / 野村証券株式会社金融経済研究所

謹 啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

京都大学経済研究所「応用金融工学（野村証券グループ）寄附研究部門」も設立より5年目を迎えることができました。同部門では京都大学経済研究所金融工学研究センターと協力して、日本の資本市場の活性化に微力ながらも貢献するため、資本市場を元気にする応用研究を進めております。今年もその研究活動の一環として、3月17日（金）東京丸の内三菱ビル10F コンファランススクエア（<http://www.emplus.jp/access/index.html>）におきまして、第5回目となる『シンポジウム 2006』を開催いたします。

午前の研究シンポジウム『金融工学の新潮流 2006』では、国内外の研究者による最新の研究発表を行います。（会場の都合により、同時通訳はありません）
午後の特別シンポジウム『企業価値評価と金融工学 - M&A時代の企業価値評価手法 - 』では、京都大学経済研究所長 佐和隆光および同客員教授 刈屋武昭、JFEホールディングス株式会社常務執行役員 岡田 伸一氏による基調講演ほか、パネルディスカッション『M&A時代の企業価値評価手法』では、モデレーターの野村証券執行役 京都大学経済研究所客員教授 加藤康之はじめ、実務の専門家たちがM&A時代について最前線の議論をします。午後の部は金融工学の専門知識を必要としない、企業関係者や投資家など実務者向けのシンポジウムとなっています。
プログラム詳細は別紙をご覧ください。

参加をご希望される方は、

- (1) お名前 (2) ご所属 (3) お役職 (4) メールアドレス
(5) ご参加になるシンポジウム（午前/午後）

をご記入の上、下記の野村証券金融経済研究所金融工学研究センターまで電子メールにてお申込ください。電話等での申し込みは不可となっております。

尚、会場に定員がありますのでお申し込みが受けられない場合がございます。あらかじめご了承くださいませようお願いします。（会場定員 200名）

【シンポジウムお申込先】

野村証券株式会社 金融経済研究所 金融工学研究センター
お申込アドレス：symposium2006@jp.nomura.com

今後とも皆さまのご協力ご支援を、関係者一同心よりお願い申し上げます。

謹 白